

2017年度 東海支部 YFE 子供いもの教室 終了報告

東海支部 YFE の活動の一つである子供いもの教室を初めて三重地区で開催するにあたり、みえこどもの城（三重県松阪市）から多大なご協力をいただき、9月3日（日）に無事に開催することができた。子供いもの教室の開催告知はみえこどもの城の広報誌、館内ポスター、ホームページ等を利用して行い、事前申し込み枠の75人分がすぐに満席となったため、急きょ当日枠を25人分増やし、合計100人分を募集した。最終的に当日枠も満席となり100人のお子様と親御さんに参加いただき、非常に盛況だった。

小中学生のお子様に、ものづくりの楽しさ、いものづくりを知ってもらうために、ホワイトメタルのペーパーウェイトづくりを体験していただいた。お子様には15種類（車や動物などのモデル）の中から好きなモデルを選んでもらい、砂型を造型する作業を体験していただいた。小学校低学年で造型が難しそうなお子様は、親御さんにもサポートいただいた。造型後の砂型への注湯、砂落としといった高温で危険が伴う作業はスタッフが行い、その様子を間近で見えていただいた。できたいものは持ち帰っていただくと同時に、鑄造工学会およびYFEのPRも行った。



造型の際に、自分だけの“い～もの”にしようとモデルに立体シールを貼るなど工夫する様子、指が痛くなるほどしっかりと砂を詰める様子など、お子様の一生懸命な姿が多く見られた。また、ドロドロに溶けた金属が砂型に流れる様子を食い入るように見る姿、砂型の中から銀色に輝く自分だけのいものが姿を現す様子に感激する姿など、子供たちの驚く顔や笑顔も多く見られた。いものづくりの体験を通し、我々が持ち込んだ身近な鑄物製品（自動車部品、調理器具や水栓金具など）や鑄造工学会のDVDの映像、我々のつたない鑄造の説明に興味を示すお子様、親御さんの姿もあった。今後も子供いもの教室を通し、皆様に鑄造に関心を持っていただけるよう活動をしていく。



最後になりましたが、今回の子供いもの教室にご参加いただいた皆様、運営にあたり多大なご協力をいただきましたみえこどもの城の皆様、岐阜大学、三重大学の学生の皆様に厚くお礼申し上げます。

（新東工業株式会社 青木知裕）